



令和5年度 群馬県立藤岡特別支援学校グランドデザイン

学校教育目標

- ・児童生徒の個性や能力・特性を生かして、基礎的・基本的な学ぶ力を育成する。
- ・基本的な生活習慣を確立し、健康で心豊かな児童生徒を育成する。
- ・日常生活や社会生活で必要な知識・技能を養い、社会の一員として生きる力を育成する。
- ・多くの人たちとの交流を通し、人と共に積極的に活動できる社会性を育成する。
- ・社会自立に向け自己達成感や自己有用感を養い、自信と意欲を持つ児童生徒を育成する。

目指す児童生徒像

小学部

楽しんで学ぶ子
元気いっぱい身体を動かす子
すすんで身の回りのことをできる子
人とかかわりを大切にする子
やりたいことを自ら決めて、伝えられる子

中学部

意欲的に学習に取り組む生徒
心身の健康を大切にする生徒
係活動や作業学習・自立活動に真剣に取り組む生徒
身近な人との適切なかかわりができる生徒 自己選択や自己決定できる生徒

高等部

個に応じた社会自立をめざし、自ら進んで学習に取り組む生徒
健康な体づくりに取り組み、安全に生活ができる生徒
仕事や余暇活動に、積極的に取り組める生徒
コミュニケーション力を活かし、周囲の人と適切な関係を作れる生徒
各実習の成果や課題を活かし、自身と意欲を持って社会生活に移行できる生徒

重点目標と取組の方向性

主体的・対話的で深い学びの実現

- ①自分から課題に取り組もうとする教材や発問の工夫と ICT 活用。
- ②他者と関わり合いながら、学びを深めていく授業計画の工夫。
- ③学んだこと・できるようになったことを生活に活かすことのできるカリキュラムの工夫。

キャリア教育の視点に立った様々な能力の育成、就労支援の充実

- ①良好な人間関係を形成できる社会性やコミュニケーション能力、協調性など「他とかかわる力」を身につけさせる。
- ②社会自立に向け自己有用感を養い、自信と意欲を育てる。
- ③土にふれ命にふれる農業の本質的な教育力により、集中力や根気強さ、得意な作業を見つけて進んで動けるようになる力等を身に付けられるよう、小中高を通じた指導の体制づくりを行う。

地域の高等学校との交流及び共同学習を推進するとともに、地域の学校園と連携し、居住地校交流や学校間交流の実施方法等について工夫を図る

- ①「共に学び、共に育つ」交流及び共同学習の実践
- ②自分の気持ちを伝えたり、人と関わったりすることを通してコミュニケーション力の育成を図る。

適切なアセスメントの実施、個別の指導計画や教育支援計画を活用した、児童生徒の実態に即した指導と評価

児童生徒の健康・安全を優先させ、児童生徒が自分の力を精一杯発揮できる環境を構築する

- ①児童生徒の心身の細かな変化に着目し、関係者で共通理解に努め、安心した学校生活を送れるようにする。
- ②危機対応マニュアルの見直し・改善に努め、状況の変化に対応できる危機管理体制を構築する。
- ③児童生徒が己有用感・自己肯定感を感じることができる・育むことができる学級経営の充実。

働き方改革の推進、風通しのよい職場環境づくり

- ①中・高連携による指導体制の構築
- ②分掌の主体性や創意・工夫を尊重し、業務の割り振りと効率化、会議の縮小・短縮等により負担を軽減する。